

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	127,784	7.1	5,782	24.1	5,940	24.5	2,761	36.9
2020年3月期第2四半期	137,502	2.6	7,623	6.6	7,871	4.5	4,374	4.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,433百万円 (12.3%) 2020年3月期第2四半期 2,773百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.97	
2020年3月期第2四半期	21.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	285,427	179,409	51.2
2020年3月期	283,882	181,329	52.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 146,055百万円 2020年3月期 147,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				20.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274,000	2.6	13,800	12.9	14,000	13.9	7,100	20.9	35.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	199,699,743 株	2020年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,995,284 株	2020年3月期	1,995,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	197,704,590 株	2020年3月期2Q	199,630,017 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、修正した連結業績予想の詳細につきましては、「決算短信補足資料」PAGE10/15～13/15に掲載しております。

当社は2020年11月12日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

○ 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化するなか、政府による各種対策が実施されるものの、雇用環境の悪化や個人消費の下振れにより、引き続き厳しい状況となりました。また、海外においても、一旦落ち着くかと思われた感染症の拡大が、再度拡大する様相を呈しており、予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止を最優先しつつ、本年5月に公表した長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」の実行計画の第1ステップとしての「宝グループ中期経営計画2022」に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、環境変化に柔軟に対応し、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固めることに取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高127,784百万円（前年同期比92.9%）、売上総利益51,422百万円（前年同期比97.0%）、営業利益5,782百万円（前年同期比75.9%）、経常利益5,940百万円（前年同期比75.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,761百万円（前年同期比63.1%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、料飲店等の営業自粛解除後も続く外食需要の低迷と、いわゆる巣ごもり需要によりカテゴリー間で大きなばらつきがありました。酒類では、ソフトアルコール飲料が引き続き好調に推移いたしましたが、清酒が大きく減少いたしました。また、調味料も減少し、消毒液としての需要があった原料用アルコール等は増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、74,164百万円（前年同期比98.7%）となりました。売上原価は、45,183百万円（前年同期比99.1%）となり、売上総利益は、28,981百万円（前年同期比98.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、管理費などが減少し、27,355百万円（前年同期比99.6%）となり、営業利益は、1,626百万円（前年同期比78.1%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外酒類事業、海外日本食材卸事業ともに、世界各地でのロックダウン等により、主要な顧客である飲食店を中心に需要が減少するなど大きな影響を受けました。海外酒類事業では、ウイスキーは好調でしたが、清酒などが減少いたしました。海外日本食材卸事業では、小売店向けの販売強化、ホームデリバリーやテイクアウト需要への取り組みを進めましたが、主力の飲食店向けへの売上の減少を補えず、減収となりました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、31,286百万円（前年同期比77.3%）となりました。売上原価は、22,140百万円（前年同期比76.4%）となり、売上総利益は、9,145百万円（前年同期比79.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、9,541百万円（前年同期比96.2%）となり、営業損失は、396百万円（前年同期は1,565百万円の営業利益）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が前年同期比で減少したものの、主力の研究用試薬および受託サービスが前年同期比で増加したことにより、17,393百万円（前年同期比105.7%）となりました。売上原価は、売上構成の変化や生産稼働率の向上等により原価率が低下し、5,565百万円（前年同期比90.9%）となり、売上総利益は、11,827百万円（前年同期比114.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が増加し、8,090百万円（前年同期比110.9%）となり、営業利益は、3,736百万円（前年同期比123.1%）となりました。

[その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたことなどにより、14,186百万円（前年同期比90.0%）となりました。売上原価は、12,388百万円（前年同期比90.6%）となり、売上総利益は、1,797百万円（前年同期比85.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、管理費などが減少し、950百万円（前年同期比93.2%）となり、営業利益は、847百万円（前年同期比78.4%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	24,976	24,284	97.2
清酒	8,302	6,792	81.8
ソフトアルコール飲料	21,808	24,024	110.2
その他酒類	3,196	2,684	84.0
酒類計	58,283	57,786	99.1
本みりん	7,197	6,288	87.4
その他調味料	5,140	4,976	96.8
調味料計	12,337	11,264	91.3
原料用アルコール等	4,514	5,114	113.3
計	75,135	74,164	98.7
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	5,433	4,675	86.1
海外日本食材卸	36,097	27,134	75.2
その他	179	35	19.9
グループ内連結消去	△1,233	△559	—
計	40,477	31,286	77.3
タカラバイオグループ	16,450	17,393	105.7
報告セグメント計	132,063	122,844	93.0
その他	15,770	14,186	90.0
セグメント計	147,833	137,030	92.7
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△10,331	△9,246	—
合計	137,502	127,784	92.9

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は165,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,171百万円減少いたしました。これは主に、手元流動性を高めるため有価証券を現金化したことにより有価証券が6,620百万円減少し、現金及び預金が4,253百万円増加したことと、売上減少により受取手形及び売掛金が2,514百万円減少したことによるものであります。

固定資産は119,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,716百万円増加いたしました。これは主に、Takara Bio USA, Inc.の新事業用土地・建物を取得したことなどにより有形固定資産が4,258百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、285,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は48,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,732百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が5,000百万円、支払手形及び買掛金が1,885百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は57,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,197百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が10,059百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、106,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,464百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は179,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,919百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が1,826百万円、利益剰余金が1,192百万円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が1,345百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.2%（前連結会計年度末は52.1%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,326百万円、減価償却費3,997百万円、売上債権の減少2,168百万円、たな卸資産の増加3,041百万円、仕入債務の減少1,721百万円、法人税等の支払額2,406百万円などにより、6,081百万円の収入（前年同期は345百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出2,042百万円、定期預金の払戻による収入3,507百万円、有価証券の売却及び償還による収入4,457百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出8,821百万円などにより、3,102百万円の支出と、前年同期に比べ1,180百万円の支出増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入10,098百万円、社債の償還による支出5,000百万円、配当金の支払額3,947百万円などにより、1,202百万円の収入（前年同期は9,214百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より3,709百万円増加し、48,250百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2020年8月4日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が見込まれる中、タカラバイオグループでは引き続きPCR検査関連製品の需要が強く前回予想を上回る見込みであり、宝酒造では飲食店向けの販売減少を巣ごもり需要の獲得で補いほぼ前回予想並みとなるものの、宝酒造インターナショナルグループが海外日本食材卸事業を中心に大きく減少する見込みであることから、宝グループ全体では前回予想を若干下回る見通しです。

一方、利益面につきましては、宝酒造および宝酒造インターナショナルグループで原材料のコストダウンや販売費及び一般管理費の圧縮に努め、またタカラバイオグループでは生産稼働率の向上による売上原価率の低下が見込まれることから、宝グループ全体の営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見通しです。

以上により、当社グループの2021年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正することといたします。詳細につきましては、「決算短信補足資料」(PAGE10/15～13/15)をご参照ください。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年8月4日発表)	百万円 275,800	百万円 12,000	百万円 12,200	百万円 5,952	円 銭 30.11
今回修正予想 (B)	274,000	13,800	14,000	7,100	35.91
増減額 (B - A)	△1,800	1,800	1,800	1,148	—
増減率 (%)	△0.7	15.0	14.8	19.3	—
ご参考：前期実績 (2020年3月期)	281,191	15,836	16,269	8,980	45.11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,265	51,518
受取手形及び売掛金	61,017	58,503
商品及び製品	42,295	43,217
仕掛品	1,801	2,133
原材料及び貯蔵品	4,879	5,706
その他	11,868	5,127
貸倒引当金	△307	△557
流動資産合計	168,820	165,648
固定資産		
有形固定資産	69,835	74,094
無形固定資産		
のれん	11,750	11,085
その他	6,950	6,069
無形固定資産合計	18,700	17,154
投資その他の資産		
投資有価証券	21,720	23,621
その他	4,873	4,977
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	26,525	28,530
固定資産合計	115,061	119,778
資産合計	283,882	285,427
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,440	14,554
短期借入金	4,787	5,607
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,690	7,217
未払費用	5,511	5,247
未払法人税等	1,886	1,812
引当金	5,224	5,082
その他	8,926	9,212
流動負債合計	55,466	48,734
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,448	15,507
リース債務	3,538	3,175
退職給付に係る負債	9,065	9,128
長期預り金	5,363	5,243
その他	3,670	4,228
固定負債合計	47,086	57,283
負債合計	102,553	106,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,454	2,454
利益剰余金	128,564	127,372
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	142,563	141,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,125	8,470
繰延ヘッジ損益	84	44
為替換算調整勘定	△1,102	△2,928
退職給付に係る調整累計額	△908	△900
その他の包括利益累計額合計	5,199	4,685
非支配株主持分	33,566	33,353
純資産合計	181,329	179,409
負債純資産合計	283,882	285,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	137,502	127,784
売上原価	84,468	76,361
売上総利益	53,033	51,422
販売費及び一般管理費	45,410	45,639
営業利益	7,623	5,782
営業外収益		
受取配当金	339	283
その他	519	348
営業外収益合計	859	632
営業外費用		
支払利息	203	176
その他	408	298
営業外費用合計	612	474
経常利益	7,871	5,940
特別利益		
固定資産売却益	2	3
受取補償金	38	—
特別利益合計	40	3
特別損失		
事業整理損	—	464
損害賠償金	38	—
その他	253	152
特別損失合計	291	617
税金等調整前四半期純利益	7,620	5,326
法人税、住民税及び事業税	2,288	2,087
法人税等調整額	46	△189
法人税等合計	2,335	1,898
四半期純利益	5,285	3,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	911	666
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,374	2,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,285	3,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	1,345
繰延ヘッジ損益	△51	△40
為替換算調整勘定	△2,571	△2,316
退職給付に係る調整額	△13	16
その他の包括利益合計	△2,511	△995
四半期包括利益	2,773	2,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,389	2,248
非支配株主に係る四半期包括利益	384	184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,620	5,326
減価償却費	3,364	3,997
事業整理損	—	464
のれん償却額	424	432
受取利息及び受取配当金	△472	△370
支払利息	203	176
売上債権の増減額 (△は増加)	△32	2,168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,662	△3,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	△831	△1,721
未払酒税の増減額 (△は減少)	△2,805	△473
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,397	801
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,992	428
その他	△137	101
小計	2,282	8,290
利息及び配当金の受取額	489	393
利息の支払額	△197	△196
法人税等の支払額	△2,918	△2,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△345	6,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,454	△2,042
定期預金の払戻による収入	2,505	3,507
有価証券の取得による支出	△4,253	—
有価証券の売却及び償還による収入	7,249	4,457
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,830	△8,821
その他	△139	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,922	△3,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△82	806
長期借入れによる収入	100	10,098
長期借入金の返済による支出	△5,134	△30
社債の償還による支出	—	△5,000
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	5,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△5,000
配当金の支払額	△3,586	△3,947
リース債務の返済による支出	△174	△333
その他	△338	△391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,214	1,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	△773	△471
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,256	3,709
現金及び現金同等物の期首残高	48,580	44,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,324	48,250

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,777	40,307	16,449	131,534	5,962	137,497	4	137,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	170	0	529	9,807	10,336	△10,336	—
計	75,135	40,477	16,450	132,063	15,770	147,833	△10,331	137,502
セグメント利益	2,082	1,565	3,035	6,682	1,081	7,764	△140	7,623

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去13百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△154百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	73,901	31,151	17,393	122,446	5,337	127,783	0	127,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	263	134	0	398	8,848	9,246	△9,246	—
計	74,164	31,286	17,393	122,844	14,186	137,030	△9,246	127,784
セグメント利益又は 損失(△)	1,626	△396	3,736	4,966	847	5,814	△31	5,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去29百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△60百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、次世代シーケンスライブラリー作製装置関連事業の整理にともない、減損損失365百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、関連する損失と合わせて特別損失の「事業整理損」として計上しております。